

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成30年5月28日（月）
全 員 協 議 会 室
9 時 5 8 分 ～ 1 5 時 5 6 分

【委 員】岡本委員長、串崎副委員長

三浦委員、川上委員、飛野委員、笹田委員、牛尾委員

【委員外】沖田、西川、村武、小川、野藤、布施、芦谷、永見、佐々木、西田、澁谷、西村

【議長団】田畑副議長

【執行部】

(産業経済部) 田村産業経済部長、湯浅産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、大驛産業振興課長、岩田ふるさと寄附推進室長、佐々木広島事務所長、坂田農林振興課長、佐々本農業委員会事務局長、永見水産振興課長、戸津川漁港活性化室長、岸本観光交流課長、川合開府400年推進室長

(都市建設部) 石田都市建設部長、三浦建設企画課長、吉川建設整備課長、木屋地籍調査課長、鎌田維持管理課長、吉田建築住宅課長、櫻木災害復興室長

(金城支所) 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

(旭支所) 塚田旭支所長、今田旭支所産業建設課長

(弥栄支所) 熊谷自治区長、河上弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

(三隅支所) 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

1. 執行部報告事項

- (1) 平成31年度国県重点要望事項について
- (2) 萩・石見空港の利用状況について（報告）
- (3) 浜田事業承継サポート窓口の設置について（報告）
- (4) 平成29年度 はまだ産業振興機構活動実績について（報告）
- (5) 平成29年度 国際定期コンテナ釜山航路取扱貨物量について（報告）
- (6) 平成29年度 ふるさと寄附の実績について（報告）
- (7) 平成29年度 広島市場開拓室及び広島PRセンター活動実績について（報告）
- (8) 平成29年 浜田市農業産出額について（報告）
- (9) 企業版ふるさと納税について
- (10) 漁業別水揚げについて
- (11) 7号荷捌所の工法決定と事業費について
- (12) 4号荷捌所の基本設計概要について
- (13) 沖合底曳網漁業構造改革推進事業の実績報告について
- (14) しまねお魚センターの検討について
- (15) クルーズ客船の浜田港寄港について
- (16) 第12回自治体国際交流表彰受賞について

- (17) 旭温泉あさひ荘の重油ボイラの故障に伴う対応について
- (18) 山ノ内梨園再整備圃場への入植者の決定について
- (19) ふるさと体験村の運営状況（直営）について
- (20) 浜田市ふるさと体験村施設経営検証委員会の中間報告について
- (21) ふるさと体験村の浴槽からのレジオネラ属菌検出について
- (22) その他

2. その他

【議事の経過】

[9 時 58 分 開議]

岡本委員長

おはようございます。本日、出席委員は7名です。定足数に達しております。本日は三隅支所長が欠席と聞いています。直ちに本日の調査会を開催いたします。

それでは、この4月の人事異動で昇任や異動のあった皆さんから一言ずつ、ごあいさつをいただきたいと思います。

《 以下、異動のあった執行部から挨拶 》

岡本委員長

皆さんありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

1. 執行部報告事項

(1) 平成31年度国県重点要望事項について

岡本委員長

なお、配布資料は要望事項全般にわたるものですが、産業建設委員会関係のみ説明をお願いします。島根県浜田沖合石油・天然ガスの資源開発促進について、産業振興課長。

産業振興課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では続いて新たな高速料金割引制度の導入について産業振興課長。

産業振興課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

では6番、重要港湾浜田港についてについて建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

では7番、三隅益田道路の事業推進について建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。牛尾委員。

牛尾委員

新年度予算で62億円という報告を竹下事務所からいただきましたが、具体的にどの辺が今年度発注になるのか、もし分かれば教えてください。

都市建設部長

具体的にどの場所をやるかは申し上げにくいのですが、三隅・益田道路ということで、三隅では三隅川を渡る橋梁、また7月に古市場のトンネルが貫通すると聞いています。トンネルに多額の工事費を要しますので、そこに重点的に行くのは間違いないです。あと益田市内の区間も当然同じように整備していかれるので、全体的に工事費を配分して、早期完成に向けて国交省に取り組んでいただこうと考えています。

岡本委員長

他に質疑はありませんか。

(「なし」という声あり)

では8番、浜田川総合開発事業の早期完成と矢原川ダムの事業推進について建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

(2) 萩・石見空港の利用状況について

岡本委員長
産業政策課長
岡本委員長
串崎副委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。串崎副委員長。

浜田市の取り決め1で、負担金693万円となっています。島根県の取り組みでは1億8000万円の中の693万円が浜田市の負担だろうと感じていますが、一番多いのは何市で、どのくらい負担があるか、分かれば聞いておきたいと思います。

産業政策課長

693万円については、萩・石見空港利用拡大促進協議会で直接納入する負担金です。従って先ほど言われた、島根県の1億8000万円、これは島根県が独自で直に協議会へ負担される金額なので、重複していません。別々です。

他市の負担金額については、順に申しますと島根県が1億8000万円、浜田市が693万円、益田市が8515万5000円です。津和野町が357万円、吉賀町が115万4000円となっています。これが萩・石見空港の協議会への、各自治体の負担金額となります。

串崎副委員長
産業政策課長

よく分かりました。萩市は無いんですか。

萩市は入っていません。山口県は協議会の中には入っておられますが、負担金は今回払われません。

岡本委員長
三浦委員
産業政策課長

他にありますか。三浦委員。

空港を利用される方の利用目的トップ3くらい、分かりますか。

手持ち資料がございません申し訳ありません。アンケートを取っておられると思いますので、また資料を探してみたいと思います。

三浦委員

空港でボランティアかアルバイトの方が取られていると思うので、多分データはあると思います。恐らくそんなに変わらないと思いますが、浜田市としては浜田市独自のサポートがあるので、浜田市民の利用目的と全体としての利用目的が変わってくるようなこともあるかもしれないと思ったので、浜田市として利用状況、どういう目的で石見空港を利用されているのかというデータと、併せて、石見空港全体での利用目的がどうなっているのか、2種類あれば教えていただきたい。

産業政策課長
岡本委員長

それについては大至急、協議会に確認をしたいと思います。

資料は次の委員会までをお願いします。他に質疑ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(3) 浜田事業承継サポート窓口の設置について

岡本委員長
産業政策課長
岡本委員長
川上委員

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。川上委員。

サポート自体については分かりましたが、浜田市は実質的に何をしているんですか。

産業政策課長

浜田市としてはこの浜田市事業承継推進会議の事務局を司っています。

そういった中でこの度、サポート窓口開設に向けた後方支援をさせていただいています。

川上委員
産業政策課長

後方支援とは何をされるんですか。私は理解できないのですが。

浜田市がこれまで事業承継について直接相談をお受けすることはほとんど無く、そういったことを業務としてされていたのが、浜田商工会議所、石中央商工会です。事業承継というのは大変重要な案件であるということで、窓口を明確化するために商工会議所、石中央商工会に窓口を設置したものです。

岡本委員長
産業経済部参事

質問された内容とちょっと違うと思うのだけど。

これまでサポート窓口を開設するにあたり、アンケートや事業承継に関することをやってきた大本は、浜田市事業承継推進会議です。主催は浜田市で、私が会を主宰して運営しています。アンケートも関係機関と連携しながらやって、今回サポート窓口開設にも、こういった会議の面々と話し合いを重ねながら開設にいたりしました。ただ、窓口はこれまでの経緯から言っても商工会と会議所の相談員さんが中心となっていますので、窓口はここでやっていただきますが、情報交換の機会はこの推進会議が中心となっています。会議メンバーと情報交換しながら、事業承継に繋げていきたいと考えています。

岡本委員長
産業経済部参事

委員の質問は、後方支援はどのようなことをするのか、という内容だと私は認識しています。それについてお答えをお願いできませんか。

後方支援という言い方が正しいか分かりませんが、サポート窓口は会議所・商工会がやります。そこで相談員さんが相談に乗って、それをマッチングに繋げるためには推進会議のメンバーが重要になってくるので、ここで定期的に会議を開いて情報交換をしながらやっていくということ。後方支援という課長の表現が正しかったかどうかということはありませんが、浜田市も当然メンバーの一員として皆で考えていく所存ですので、ご理解いただきたいと思います。

川上委員
産業経済部企画監

窓口は商工会議所と石中央商工会だと。浜田市はあくまでも推進会議の開催と運営だけだということの良いですか。

浜田市の方で、直接事業承継という名前にはなっていませんが、創業支援の補助金を出しています。これが先ほど課長が申した、3番のマッチングの中でとても有効で、今窓口になっている商工会、商工会議所からも、行政は施策として補助金や制度面をしっかりとということで、これを受け取ってやらせてもらいます。

岡本委員長
三浦委員

他に。三浦委員。

県の事業引継ぎ支援センターの方が、この推進会議に出られることはありますか。もう1点は、この支援センターからこの窓口に、どのくらいの頻度でスタッフの方が来られ、そこでどういった指導・助言等を、商工会議所ないし関係者の方々にしていられるご予定か、お伺いします。

産業政策課長

松江の島根県事業引継ぎ支援センターのことですね、はい。そちらの方がどのくらいの頻度で来られるか。まずこの推進会議には参加させていただいています。こちらに来られる頻度については、うちでは把握しておりません。

(「定期的に来られていると思うが」 という声あり)

岡本委員長
産業政策課長
三浦委員
産業政策課長
産業経済部企画監
岡本委員長
笹田委員
産業政策課長
笹田委員
産業政策課長
岡本委員長

答えられますか。産業政策課長。
県の引継ぎ支援センターの方は、浜田市が年2回開催する事業承継推進会議に来ていただいています。私どもが把握しているのは、その会議にお越しになっていることです。
年2回の会議への出席以外は、窓口からのリクエスト、要望をした時のみ、松江から派遣されていらっしゃるということですか。例えば毎週この曜日にはこういう方が常駐していますので、この日に来てくださいといった対応は、ここではされないという理解でよろしいですか。
県の事業承継推進員さん、引き継ぎセンターの職員さんについては、年2回の会議には確実にとお越しいただいています。例えば先般設置した窓口定期的に来られるかどうかについては、まだ詰めていません。申し訳ありません。
聞いている話で確実ではないのですが、常駐ではありませんが引継ぎ支援センターの浜田拠点を、シティパークに用意する動きがあるそうです。実際どうなっているかは不確定ですが。それと課長が申したように、案件があればすぐに飛んでくるので、通常の会議は2回ですけど、よく来るとは聞いていますので、案件次第だと思います。
他にありますか。笹田委員。
先週開設したばかりですが、経営指導員と、事業承継推進員が常時窓口滞りされて、いつでも相談受け入れ可能という体制を取られているという認識でよろしいでしょうか。
その通りです。商工会議所あるいは商工会の経営指導員さん、それとこの地域の事業継承推進員さんがおられます。
浜田では以前から事業承継が問題となっています。急遽こういった窓口が開設されるのは良いことだと思うのですが、25日に開設されて色々ありますが、現段階で既に相談等々あればお示しください。
事業承継の相談業務については、窓口が開設される以前から、各商工団体様において何年も前から、事業承継に関する相談をお受けになっています。開設後はそういう案件は聞いておりません。
他に質疑がありますか。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(4) 平成29年度 はまだ産業振興機構活動実績について

岡本委員長
産業振興課長
岡本委員長
飛野委員
産業振興課長
岡本委員長
飛野委員

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
今後は見直しも含めてやっていくということでしたが、農産食品の分野別で、2-1の小売と2-2の飲食業を足しても2100万円。この農産と食肉のウェイト内訳は分かりますか。
農産と食肉の内訳について、今は細かい数字は把握していません、申し訳ございません。
後程、出ればお願いします。
恐らく農産の方が少ないと私は思います。前にも言ったのですが、ど

うしても農産が水産・食肉に対して少ない、何故伸びないのかが非常に気がかりです。販路拡大を狙うなら、この部分もやっていかないといけないと思っています。農産と食肉はあくまでも分野が違うと思います。1つの括りで、せめて水産・農産・食肉の3つに分けていただくと、案外農産が低いとなれば、何故低いのか検討も改善も出来ると私は思っています。是非とも見直しをされるならそういう観点でお願いします。どうでしょうか。

産業振興課長

ありがとうございます。その辺についてはその方向でまた整理していきたいと思えますし、うちの方は水産も農林もしっかり連携してやっていかないといけないと思っていますので、その辺を踏まえてしっかり頑張っていきたいと思えます。よろしくをお願いします。

岡本委員長
牛尾委員

他に質疑ありますか。牛尾委員。

今の質問に関連するのですが、例えばいかりスーパーの契約栽培でハウスが結構あるとか、いわゆる東京や大阪圏の企業との契約栽培の実績は相当ありますが、そういうのはここに載ってこないでしょう。飛野委員が指摘された件については、産業支援機構だけの数字での出し方は適当ではなくて、浜田全体の農水産品がどのくらい出ているのかというデータを取っていかないと、公平な分析が出来ないと思うんだけど。その辺も加味してもらって是非造っていただきたいと、要望しておきますのでお願いします。

産業振興課長

ありがとうございます。ご指摘のとおり飽くまで産業振興機構という取扱いの中であり、事業者が直接繋いでおられる物も当然ありますので、絶対把握というわけではありません。その辺については部内で検討させていただきます。

岡本委員長
川上委員

川上委員。

広島市場開拓室と重なるんですが、浜田産業振興機構と市場開拓室は、どうも棲み分けがはっきりしないのですが、その辺についてご説明いただきたいです。

産業振興課長

一応現在においては広島事務所においては、いわゆる山陽圏域、それ以外の地域については産業振興機構で担当するという棲み分けをさせていただいています。ただ今後どうしていけば良いかは、まだ検討の余地があるかとは思っています。

川上委員

非常にロスがあるのではないかと思うんですが。同じような形が出ていくので。九州は誰がされるのか知りませんし、はっきりしないのであれば統一された方が一層効率的だと思います。片方でこういう説明をする、片方ではこういう説明をする。非常にロスが大きいのではと考えますが、それについてはなるべく早く検討していただきたいと思えます。

産業振興課長

ご指摘の部分もとてもだと思えますので、しっかり検討してまいりたいと思えます。

岡本委員長

他に質疑ありませんか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(5) 平成29年度 国際定期コンテナ釜山航路取扱貨物量について

岡本委員長
産業振興課長
岡本委員長

執行部から説明をお願いします。産業振興課長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(6) 平成29年度 ふるさと寄附の実績について

岡本委員長
寄附推進室長
岡本委員長
川上委員

執行部から説明をお願いします。ふるさと寄附推進室長。
(以下、資料をもとに説明)
この件について、委員から何かありますか。
寄附実績の13億6200万円は前回も聞いていますのでもう良いですが、その内、返礼品の内訳と手数料はいくらか分かりますか。
細かい数字は持っていませんが、返礼品は約3割程度を納めていました。あと送料等を足すと、4、5割に達する形です。

寄附推進室長

川上委員

ふるさと寄附については、ある所を経由して多分そこへ手数料が落ちると思うんですが。そういう話を私は聞いているんですけど。ふるさと寄附を受けたら、何か組織があって、そこを経由して多分浜田市に入ってくるんじゃないかな。浜田市そのものがふるさと寄附の金額を全て把握して扱っているのではなくて、どこかがそれを途中で扱っているんじゃないですか。そういうことないですか。

寄附推進室長

川上委員

委員がおっしゃっているのはポータルサイト等に受付窓口があって、そこを経由してお金が入ってくるわけですけど、浜田市の場合は「ふるさとチョイス」という所が一番大きくて、その他には浜田市が直接経営している特設サイトと、ANAのサイト等もございます。そちらを経由してお金が入ってくる仕組みです。

岡本委員長
産業経済部参事

ということは13億6200万円から返礼品を抜いて、プラス途中のお金が抜けていくということですね。だから浜田市へは結局……多分1回入ってきてそこから手数料払うんでしょう。

寄附推進室長

少し整理をしましょう。産業経済部参事。
私の認識が間違っているかもしれませんが、寄付金は当然クレジット会社等を通して全額浜田に返ってきて、それに対する経費を例えばポータルサイトとか送料とか品物の金額等に支払っていると認識しています。
支払いについてはそうです。最初は色んなサイトを通じてクレジット等でお金が浜田市に入ってきて、お品への支払い等々は浜田市がしています。

川上委員

だから、13億6200万円の内、裸で浜田が使えるお金はいくらですか。13億6200万円は寄付金の総額だと思います。そこから返礼品代があります、途中の取扱手数料等々があります。ある所は10億円くらいあれば何パーセントというような金額になってくると思うけど、それが四、五千万あるとか、そういうのが分かれば教えてくださいと言っているんですけど。出来れば金額を教えてもらえば一番良いです。ここにいくら払いますと。

寄附推進室長
岡本委員長
飛野委員

内訳については持っていませんので、後からお示しさせてください。
では、後に資料でよろしくをお願いします。飛野委員。
使途の報告についてお聞きします。メールマガジンを2回発行する云々

ですが、マガジンにも「大事な寄付金はどこどこへ使いました」という内容は入っているのでしょうか。

寄附推進室長

残念ながらメールマガジンは宣伝に使わせていただけてまして、寄附の使用状況についてはホームページ等々で公表させていただいています。

飛野委員

ホームページだけですか。

寄附推進室長

ホームページと、広報にもお出しさせていただいています。

飛野委員

実はこの前、議会報告会がありまして、女性の方からこの件についてお話がありました。「寄付者もたくさんおられますが、浜田に所縁があるから帰ってくる。その時に例えば浜田駅にそれが貼ってあったら寄附された人は本当に喜ぶよ」というお話をされました。確かに市民に対してはそういうお知らせがありますが、関わりのある方が来られた時にはやはり、見た時の喜びが増えると思うんですよね。例えば浜田駅だったり高速バス乗り場だったり、支所の市民課だったり、限られた所で結構ですから、そういう試みもお考えになったらいかがかと思うんですが、どうでしょうか。

寄附推進室長

ありがとうございます。大変有意義なご意見をいただきました。その辺も今後検討させていただきたいと思います。

岡本委員長

他にありませんか。笹田委員。

笹田委員

まず返礼品の割合が5割から3割以内になったということで、実質寄附をいただいた3割分しか返せないということで、地元企業のふるさと寄附関連収入もその分減っていくことについて、地元企業から色んな話があったりしますか。

寄附推進室長

返礼品の割合を3割に抑えるというのは総務省からあったのですが、実質これまでも浜田市はお品については3割程度のものを業者さんにはご用意させていただいており、前まではお品プラス梱包や送料等を込みで5割程度くらいをご用意いただいていたので、浜田市の対応としては3割に変わってもお品についてはそんなに下がってはいません。そういう意味では業者さんもそんなに収入が下がるということにはなっていないと思っています。

笹田委員

そうしますと理解に苦しむのですが、送料等のお金の出所が変わったということでしょうか。

寄附推進室長

そうではなく、今までは込み込みで考えていたものを、総務省の指導があったので、個別に分けたという形です。

笹田委員

分かりました。それと先ほど課長から、5月27日に1億円突破という発表がありましたが、表を見る限り去年は5月上旬あたりで1億円を超えたのではないかと考えています。昨年度比で現時点ではどのくらい下がっているのでしょうか。

寄附推進室長

昨年比でいくとだいぶ下がってしまっていて、金額でいくと60パーセント程度に落ちているんですが、去年は5月8日に1億円に達しています。28年度は5月13日に1億円に達しています。ですので29年度は駆け込みの関係があったのでちょっと早かったのですが、28と比べると2週間ばかり遅れている状況ではありますが、何とか踏みとどまってこれから増やしていきたいと思っています。

笹田委員

こういったものは最初からどんどん下がっていくだろうと予測してい

ましたが、まだいけるのではと思っています。もう少しは。その中で29年度の主な取り組みで色々努力されて13億円というご寄附をいただきましたが、今年度は29年度の取り組みプラス、もう少し頑張るためには色々な取り組みが必要になってくるだろうと思っています。新たに何か考えている取り組みはございますか。

寄附推進室長

ご指摘のとおりこのままではギリ貧になりますので、新たな取り組みとしては、受付ポータルサイトをこれから1つ2つ増やして、新たな顧客獲得を図っていきたいと思っています。

岡本委員長

他に質疑は。串崎副委員長。

串崎副委員長

今の会話で少し気になったんですが、29年度の概況をよく読むと、落ちた原因が3割以内になったと書いてあります。元々3割でやっていたということになれば、この概況とあまり……不信感を感じますがどうですか。

寄附推進室長

おっしゃる通り実質変わっていないのですが、新聞やメディアが品物の割合が下がったという報道を出した関係で、寄附される方が損になるような印象で受け取っておられて、浜田は実質中身の品はそんなに変わっていないのですが、そういう報道が先に立つとどうしても皆さん控えるような感じが起きたという所だと思っています。

串崎副委員長

全国的に落ちたという感覚でよろしいのだと思います。PRイベント等も書いていらっしゃるんですが、東京・大阪・広島と書かれていらっしゃるならば、経費がどのくらいで実績がどのくらいだったのかと感じます。できればもっと詳しく、どんな状況だったかくらい書いていただければと要望しておきます。

寄附推進室長

もう少し詳しく書きたいと思います。

岡本委員長

他に質疑ありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。ここで暫時休憩に入りたいと思います。11時15分から再開したいと思います。

[11 時 05 分 休憩]

[11 時 13 分 再開]

(7) 平成29年度 広島市場開拓室及び広島PRセンター活動実績について

岡本委員長

執行部から説明をお願いします。広島事務所長。

広島事務所長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。

川上委員

金額的には確かに平成26年から見て倍になっています。しかし関わっている人間の数は2、3人。要するに2000万円から2500万円くらいかかっているのですが、それで約9000万円の実績ということで、非常に効率が悪いような気がします。浜田市に入ってくるお金は僅かなものです。たかだかのお金を取るため、またPRするために、何千万もかけてやるのが良いのかどうか1つ目。

それから、26年から開拓室が開かれたとのことですが、それ以前の浜田産業振興機構の実績をいただきたいです。開拓室が出来た時点で振興

機構の金額は落ちているのではないかという気がしないでもないです。その辺も少しお調べいただきたいのですが、いかがでしょうか。

広島事務所長

9100万円という実績ですが、先般の予算決算委員会でも申し上げましたが、事務所が平成26年6月にオープンしました。当初3人体制でやっていましたが、私も広島へ赴任して4年目を迎えました。当初から地道な営業活動を実施しており、その効果というか、浜田市の広島事務所が、広島の多くの企業に浸透してきたと思っています。4年間のストック効果が今徐々に表れてきていると思っています。これをもっと長く続けることでより大きな効果に結び付けていくと考えています。

産業振興課長

過年度分の数値については、また整理して報告できればと思っています。

川上委員

折角なのでその時にかかっている市の費用も、一緒に重ねていただきたいです。開拓室については何名というのが分かっているのでおおよその費用は分かりますが、機構についても見せてください。

それから開拓室は広島・山陽方面と聞いていますが、ウラジオストックの関係もあるということは幅広くということですね。

広島事務所長

おっしゃるように広島事務所は3つのミッションをやっています。販路開拓・企業誘致・ポートセールス。産業振興機構は販路開拓のみということで、その棲み分けは先ほど課長が申したとおり、広島方面を中心とした山陽圏域あるいは四国・九州も含まれます。そういった所は広島事務所で管轄しています。企業誘致・ポートセールスについては、一応山陽方面という枠はありますが、それに拘らず、全国また海外についてもやっています。

川上委員

またお話を聞くと一段と解らなくなってきました。棲み分けが本当にしっかり出来ているか、もう一度確認してください。開拓室が出来るまでは産業機構が全国をやっていたと思います。それが開拓室が出来た時点で、開拓室がここをやるというのがしっかり決まっているのか。要するに非効率ではないかということが言いたいので。今後考えていただきたいと思います。

広島事務所長

広島事務所（旧広島市場開拓室）が出来たのは、平成25年10月に久保田市長が就任され、市長方針によって26年6月に出来ました。その中で3つのミッションをやれとのこととやっています。ただ先ほどご指摘があったように販路開拓については、産業振興課と重なる部分がありますので、これについてはどのようにしていくか今後検討していきたいと思えます。

岡本委員長

串崎副委員長。

串崎副委員長

1つだけ状況を聞かせてください。平成29年度水産8700万円、農産・食肉220万円。数字的に大変乖離があります。浜田の顔もありますが、農業は難しいですか。その辺の状況を少し聞かせてください。

広島事務所長

我々営業活動をしています。やはり浜田と言えばお魚がメイン。例えばスーパー、百貨店、卸を回るとお魚が中心になると思いますが、ただ今やっている中で、例えば有機野菜、無農薬野菜、低農薬のお米等、オーガニック系の野菜や果物に非常に関心が高まっています。今は水産品が中心ですが、徐々にそれ以外の物も実質的に上がってくるので

はないかと思いますが。また先般の産業建設委員会や予算決算委員会でも申し上げましたが、今年1月になって浜田の鮮魚や有機野菜に拘るコンセプトにしたイタリアンレストランが1月に広島駅の近くにオープンしました。その近くに新たに、前回申し上げた時は9月くらいに、浜田食材を使った産直市場を1階に設けて、2、3回を居酒屋にするということに少し触れたのですが、場所が移動して11月くらいにオープンに変わると聞いています。そういった新たな動きも出てきているので、そういった所が始まれば浜田市PRになりますし、お魚以外の産品も販売されると期待しています。

川上委員

先ほどの回答の中で「検討する」というお答えがありましたが、いつ頃までに検討していただけるのか、検討しても駄目だったという答えが出てくるのか、営業しているということは今言われたが、公務員さんが営業というのは非常に非効率です。営業は営業マンにさせた方が良いでしょう。出来たらIターン等で営業マンをやっている、その方に効率的な営業をしていただく方がよろしいかと思えます。それも検討してください。

広島事務所長

時期的なことですが、この4月に広島PRセンターと広島市場開拓室が統合して広島事務所ということでやっています。来年4月に向けて今、機構改革の準備を進めている所ですが、そこで産業振興機構と開拓室のことも連投していくこととなりますが、時期的なことは言えませんが、今後検討していくのは確かです。

営業についてですが、市の職員ですので営業のノウハウが無いものがやっています。ただ、今いる職員2名体制でやっていますが、私は着任して4年目になります。色んな産業経済畑を歩いていて営業活動の実績もありますので、もう1人も広島の元銀行員で民間での営業活動もしていました。そういった意味では現在の営業体制は強いものがあると思っています。ただ、今後の人事異動で代わると新しい職員になりますので、人事については人選も含めて案を検討していく必要があるかと思えます。

岡本委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(8) 平成29年 浜田市農業産出額について

岡本委員長

執行部から説明をお願いします。農林振興課長。

農林振興課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。飛野委員。

飛野委員

全体的には4600万円プラスとのことで非常に好ましいと思います。その要因も米の単価アップということで、浜田市の気にするところではないと思います。10年前からのデータがずっと並んでいます。トータル的に見ると横ばいです。久保田市政になって浜田の顔を始め農業に力を入れてきていると思うんですが、さほど上がってない。この原因はどのあたりにあるとお考えでしょうか。

農林振興課長

最大のものを見出すのはなかなか難しいですが、市としてもある程度の支援を引き続き行ってはいますが、生産者の高齢化に起因する意欲の減退も1つあるのではないかと。意欲を高めてもらうための支援制度、お

金のこともそれ以外も、こういった形で協力していけば意欲が出てくるのか。あるいはもっとお金の問題も含めて支援策の説明をすることによって、この場合にはこういった補助金が使えそうだとか、そういった話をするのが大事ではないかと考えています。

飛野委員

中でも西条柿が少し伸びています。今年大変豊作でした。逆に豊作過ぎて豊作貧乏という部分があったと記憶しています。そういう中で意欲の話となるとあんぽ柿が非常に良いです。豊作によって出来高貧乏するのではなく、あんぽ柿等のカテゴリーがあるわけですから、もっと上手いこと販路を作ることによって、豊作して余分に儲かる支援の打ち方ができるのではないかと、という私見があります。

もう1点思うには、農産物加工品が一部伸びています。ただ作って売るでは、浜田の農業は負けると思います。だから加工する。この部分で勝負しないと数字は伸びないのではないかと考えています。そういう観点でお考えいただけたらと思います。何かあれば。

農林振興課長

大変素晴らしい案をいただいて、実際にあんぽ柿についてはJ Aさんも大変努力されているところです。ただ、あんぽ柿加工場の人手もなかなか不足しがちだと聞いていますので、そういった部分も含めてJ Aさんと連携する必要があると考えています。

もう1点、加工することに関しても、行政やJ Aさんだけの発想ではなく、もっと利用できるような話があればそれを参考にして、ますます6次化を図りたいと考えています。

飛野委員

加工品、是非ともやってください。良い品もあります、ジビエとか。ここを検討お願いします。

岡本委員長

他に質疑がありますか。串崎副委員長。

串崎副委員長

産直市ですが、どんどん下がってきます。内容を良く知っています。高齢者、担い手不足という形ではありますが、これコーディネーターに対して多分270万円だったか、市も負担金を差し上げています。この前申し上げていましたが、コーディネーターと市の担当部局とで毎月の検討会議はやっていらっしゃるでしょうか。

農林振興課長

コーディネーターさんを含んだ会議は、最低でも月に1回は開催しています。またTACさん方々も含めて密接な繋がりが必要だと感じています。引き続き連携していきたいと思っています。

岡本委員長

三浦委員。

三浦委員

一番左側の水稻や豚というのは、作物の種類だと思います。この中に有機野菜というのが入っているのが、データから違和感を覚えるのですが、有機野菜の中にも、例えばほうれん草があったり小松菜があったり色々あると思います。ここは品種がまとまっていて他は個別になっている。水稻の中にも観光栽培の物があったりブランド化している低農薬の物があったり、色々種類があると思います。私が見たいと思うデータは、各品種の出荷額等がどのくらいで、その内どれくらいが有機なのか、全体の中で何パーセントなのかです。先ほど広島事務所長も仰っていましたが、こちらから出していく物の中でオーガニックのような物が非常にニーズがある、それに対してどれくらい供給できるのか、どれくらいの割合を浜田市の中で増やしていくのかということを考える際に、そうい

った数字が無いと現状把握出来ないと思います。この表の有機野菜にはどれくらいの品種が含まれているのか、こういった理解をすれば良いのか、ご説明いただければありがたいです。

農林振興課長

平成20年からのデータになっています。このデータというのは、浜田市産地強化協議会調べとなっていて、平成20年に有機野菜というのがどの部門まで包括されていたか、内容的には分かりません。今現在の有機野菜の内訳を、今後分かるようにしていきたいとは考えています。

三浦委員

繰り返しになりますが、そうした数字をきちんと持つておくことで初めて、例えば営業マンが外へ出ていく時に、浜田市にこういった野菜があるのか把握しないまま営業かけることは多分出来ないと思います。市場からオーガニックの物が欲しいというリクエストを受けて、それは浜田にもありますといった時、供給出来ないマッチングは出来ないと思います。そうした意味で広島市場開拓室もそうですが、産業振興機構が外へ向けて営業していく時に武器になるような、きちんとしたデータを把握しておくということは必要だと思います。そうした意味で、ざっくり感のある10年前のデータではなく、きちんと今の営業戦略に必要なデータをきちんと持つべきではないかと思います。意見として申し上げます。

農林振興課長

大事なポイントを教えていただきました。ありがとうございます。農林振興課だけではなく、皆さんと連携するのが大事な部分だろうと思っています。市の中だけでこの表を作っていたということも否めない部分がありますので、今後は販路も関連付けてデータ処理に努めたいと思います。

岡本委員長

他に質疑はありますか。笹田委員。

笹田委員

先ほど広島事務所長さんが、有機野菜・オーガニックが広島でも注目されているということで、期待していることと思います。有機野菜が今までずっと右肩上がり、どんどん伸びていくのではと予測はしていましたが、ここで下降気味になってきたと。構成比も12パーセントを超えていますので、割合的には農業を支えている物だと思っています。有機野菜がまだまだ右肩上がりになりそうな所で下降気味になった要因は掴んでおられますか。

農林振興課長

葉物が天候に左右されるのではないかと思います。ハウスであれば大丈夫ですが、露地栽培の方々にとっては気候変動に応じて対応していく必要があるのではなかろうかと考えています。去年7月にも雨が降りましたが、かなり冠水した農地もありました。冠水が無くなったら雨が少なく高温になったこともあって、露地物が少し難しかったのかと感じています。

笹田委員

私も金城で有機野菜を作っておられる方を知っていますが、ハウスでやっているのか露地でやっているのかというくらいのデータはお持ちでしょうか。

農林振興課長

そこまでデータは持ち合わせていません。

笹田委員

これが今後浜田市の農業を担っていく部分になる可能性もあるわけで、ハウスでやると……視察に行った時に工場を使ってLEDでやっているのを見ましたが、一番のメリットは安定供給が出来ることを言われてい

ました。そういった意味でも、ハウスだと大風以外の天候には左右されにくいと思います。安定供給できる有機野菜は、浜田の野菜を有利に売っていくためには、数等を知っておくべきだと思いますし、そういうデータは私も取ってもいいと思います。

農林振興課長
岡本委員長

ちょっと詳細に調べてみたいと思います。

他に質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(9) 企業版ふるさと納税について

岡本委員長
農林振興課長
岡本委員長

執行部から説明をお願いします。農林振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(10) 漁業別水揚げについて

岡本委員長
水産振興課長
岡本委員長
牛尾委員

執行部から説明をお願いします。水産振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。牛尾委員。

鯖の問題が出ましたが、隠岐船団は大きいので収入が桁違いです。どうしても今年のように残りを11で割ると地元船団にとっては非常にマイナスだという実態もあるので、もう少し上手く調整してもらわないと、いるのに出られないという、そういうことは今までなかったけど今年は顕著にあるので、是非地元船団、特に浜田港を船籍としている2カ統が不利にならないよう、担当課は努力していただきたいと思います。お願いしておきます。

水産振興課長

ゴールデンウィーク前にそういう状況になって、仲買さんも、鯖やアジがないということで非常に困っておられました。鯖若しくはアジも漁獲可能枠というのが定められていますが、ヨーイドンで獲った者勝ちです。月毎に管理はしていたものだろうと思いますが、4月特に後半に鯖の水揚げがあったということでした。本来なら1月頃から状況を見ながら県内で調整するのですが、今回は急々で会議を開く状況になりましたので。ただ生産者からも当初、7月1日から漁獲可能枠がリセットされている操業にありますが、地元からも最初から船団で割ってやった方がという話もありますので、これもまた多数決の論理で大きな船団が主張されればどうなのかということもありますが、地元としては県を通じて、地元からは船団あたりの漁獲枠というのを設定してスタートしたらどうかという声があるということをおの方に伝えていきたいと思っています。

岡本委員長

他に質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。ここで休憩を取りたいと思います。再開は13時丁度といたします。

[12 時 01 分 休憩]

[12 時 56 分 再開]

岡本委員長 会議を再開します。産業政策課長より先ほど来の答弁に訂正があるよう
産業政策課長 ですので、求めたいと思います。産業政策課長。

(2) の萩・石見空港利用状況についての中で串崎副委員長から、各自
自治体の協議会への負担金はいくらなのかというご質問に対して、島根県
内の自治体のみを答弁しましたが、正しくは追加で萩市が777万円、阿武
町が42万1000円、山口県が10万円の負担金を支出されています。説明が
大変不十分であったことをお詫び申し上げます。

岡本委員長 今の答弁について、質疑はありませんね。

(「なし」という声あり)

では次へまいります。

(11) 7号荷捌所の工法決定と事業費について

岡本委員長 執行部から説明をお願いします。漁港活性化室長。

漁港活性化室長 (以下、口頭にて説明)

岡本委員長 この件について、委員から何かありますか。笹田委員。

笹田委員 事業費のことは分かりましたが、レジュメを見ると工法決定と書いて
あります。それはまだ言えないということでしょうか。

漁港活性化室長 現在、漁村総研に委託する鉄骨造での実施設計ですが、事業費等は今
日はまだ金額は申し上げられませんが、安価になるだろうということ
で進めていただいています。市としては比較等もご説明しなければいけ
ないのですが、現在のところ鉄骨造で進めていきたいという考え方を持
っています。

岡本委員長 他に質疑はありませんか。川上委員。

川上委員 工法と金額については分かりましたが、以前1回工法が変わりましたが、
その理由がはっきりしない限り、今回工法が元へ帰る理由もはっきりし
ないと思うんですが、それについてよろしければ、後日で結構ですので
資料等ありましたらご提示いただければと思います。

漁港活性化室長 確認して提出出来るものがあれば、提示したいと思います。

岡本委員長 他に質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(12) 4号荷捌所の基本設計概要について

岡本委員長 執行部から説明をお願いします。漁港活性化室長。

漁港活性化室長 (以下、資料をもとに説明)

岡本委員長 この件について、委員から何かありますか。笹田委員。

笹田委員 実施設計の時にまた大建設計のように基本設計と実施設計の開きがあ
ると、同じような問題にならないだろうかという危惧があります。我々
としては7号を漁村総研さんをお願いした以上は、ここも恐らくそうした
方が乖離が出にくいのではないかという感じがしますが、その辺の考え
は何か、市としてお持ちでしょうか。

漁港活性化室長	7号の実施設計を再度委託していただいております漁村総研、非常に丁寧に対応いただき、設計をいただいている。市としても4号の基本設計に引き続き、実施設計については出来れば漁村総研にお願いしたいという考えは持っています。
笹田委員	そうなると入札ではなく依頼する形になろうかと思いますが、最初に申し上げた、乖離が大きすぎないというのが一番説明しやすい所だと思うので、それを理由に早めに方針を出していただき、安心できる荷捌所の設計に取り組んでいただけたらと思います。
漁港活性化室長	4号荷捌所の実施設計については来年度以降を考えています。今のご意見を参考に検討したいと思います。
岡本委員長	他に質疑はありませんか。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

(13) 沖合底曳網漁業構造改革推進事業の実績報告について

岡本委員長	執行部から説明をお願いします。漁港活性化室長。
漁港活性化室長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	この件について、委員から何かありますか。串崎副委員長。
串崎副委員長	本人さんの負担はどのくらいになるんですか。
漁港活性化室長	実証事業で、県と市の事業ですが、この4カ統の事業においては実際に水揚げ金額に対してかかった経費を90パーセントにかけますが、足りない場合に補填をしますということで、8回にわたって2年間で1億2000万の支援をしています。手出しということですが、それ以外の経費で上がってこない部分については、会社のご負担になっているかと思いますが、今回の実証事業をしている期間にかかった経費は、この事業を活用していただいて、市の支援を受けていただいているので、あまり会社としての負担は、対象経費についてはご負担が減っていると思っています。
岡本委員長	企業の負担はあるのか、あればどのくらいあるのかという質問だと思うんですが。答えられなければまた。活性化室長。
漁港活性化室長	具体的にいくらを経費をご負担しているかまでは伺っていません。
岡本委員長	他に質疑はありますか。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

(14) しまねお魚センターの検討について

岡本委員長	執行部から説明をお願いします。漁港活性化室長。
漁港活性化室長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	この件について、委員から何かありますか。川上委員。
川上委員	今は検討段階で、歩き出すことは無いですね。何故かというとお魚センターを仲買の方が使うことになると、ただただそれだけです。周辺のこと何事も考えていません。周辺も含めて出来たら、それは相対的にこうするんだという形にさせていただきたい。理由は、お魚センターとか仲買に来て、1時間で帰ってもらっては困るんです。半日くらい何とか過ごせる状況をつくっていただきたい。同時にそこへお土産等があるよう

にさせていただきたい。そしてバスで朝来て昼ごはんを食べて帰られるように。昼ごはんを食べに来たら夕方までいてお土産を買っていただけるような施設を検討させていただきたい。ただお魚センターの中に仲買を入れるだけの検討では、私は将来はないと思っているので、これはあくまでも基本案であってまだ先がありますというのであれば、是非ご検討したいと思います。

漁港活性化室長

この検討については建物の施設として仲買が入った場合にどうでしょうかということ、建物の検討をしたところ、ご指摘いただいた周辺を含めてどういったことにもっていくかは、色んな方のご意見をいただいで考えていきたいと思っています。

岡本委員長

他に質疑はありませんか。笹田委員。

笹田委員

結局これどうされるんですか、買うんですか、買わないんですか。

漁港活性化室長

現時点でまだ方針を決定していないので、買う買わないといった段階に至っていない状況です。

笹田委員

そうするとここにも書いてあるように、昨年11月にお魚センター側から「市に買い取って欲しい」という要望があって、話を先送りにした場合あっという間に1年が経過して、1年経過すると精算方法も変わってくるだろうし、計画がずれ込んでいくのではないかと思います、市はその辺をどのようにお考えですか。

漁港活性化室長

お話をいただいて長い時間をかけてお答えするのはよろしくないと思っていますので、出来るだけ早く市の判断を決めたいと思っています。

笹田委員

この段階でそういう話が出来ていないということになると、恐らく6月議会には上程されないだろうと予測できます。早くても9月になると、もし買い取るという話になった場合には、丸々1年かかります。待たせるわけにいかないという気持ちもわかるのですが、相手がいることですし、そちらをしっかりとしないと、こういう物を出されても、中身が無い中で3億かけたらこんなことが出来ますと言うこと自体、私はおかしいと思っています。買うか買わないかも分からない中で。海水引っ張ることも書いていない。フードコートに3店舗入ると具体的に書いてあります。買い取るか買い取らないか決まっていなのにこの資料が出るのが不思議ですが、どう思われますか。

漁港活性化室長

買い取ったら市はどんな形でやっていくか、という案としてご意見を聞いた中で今回お示しするものですので、市としては関係者と協議して早い段階で結論を出して、早い時期に予算的な物も盛り込んで進めていきたいと考えています。

笹田委員

案は分かるんですが、こういう物を出されると、こういう物が出来ると皆思うんです、間違いなく。フードコートが3店舗出来て、仲買人が入られて足りない所は付け足しで作ると皆さん思われると思います。でもそれではよろしくないだろうと、ここの委員は皆思われると思います。これでは浜田市が買い取った所で、市として誰が運営するかも含めて誰も納得できない状況の案を出されているんです、はっきり申し上げて。そういう所自体が不信感があります。ずっと一般質問でやってきたので。買い取るか買い取らないかもモヤモヤしてしっかり判断できない。その辺は委員会で説明するにしても、ちゃんとした説明になっていないので

はないかと、私自身は思うのですが。

漁港活性化室長

市がやりたい案をお示ししたのですが、実際にどうやっていくかを合わせて本来お示ししなければいけない所なので、今のところはそこまで申し上げる内容がありませんので、今日の所は検討してどうかという内容だけお示しさせていただいたということで、お願いさせていただければと思います。

笹田委員

そうではなくて、まず買い取るか買い取らないかという話を僕らにしてもらわない限りは、こういう話をしては駄目だと思うんです。これは仲買人とする話なんです。来る人のために。仲買人さんとの調整が済んだので、店舗も含めてオッケーをいただいたので買い取る方針にしました、では中身をどうしましょうかという議論なら分かるのですが、買い取るか買い取らないかも分からないまま、市としてはこういう案でやりますという事自体が、私はおかしいと思うわけです。こんな物が出てきたら、仲買人の方も「こんな風になる」と言いますよ絶対に。だからまず買い取るか買い取らないか、話が上手く行っているのか行っていないのか、そこが先だと思うんですよ。これ話がまとまらなかったから買い取りませんでした、という話だってあり得るわけでしょう今の段階の話だと。これをもってする話ではなくて、市の方針としていつまでに買い取る、いくらで買い取るというのが、委員会に対する説明だと思うんです。これ見ても誰も納得されないと、思います。なんだこりゃと。どうですか部長さん。

産業経済部長

現段階で今は仲買がお魚センターに移るとしたら、仲買さんの状況もあるでしょうし、そういったことを加味して新たなお魚センターの在り方を考えるのなら、こういったことも出てきます。それから仲買が移るだけではなく、あの施設は今まで水産都市浜田の顔として、また色々なPRをするためになっている施設でもありますので、その辺を備える施設ならば敲き台としてこういった案もあるということで、仲買さんと協議しているということで、ご理解いただきたいと、思います。

笹田委員

私は理解できません。工事費まで出ているんですよ、3億1300万円という工事費まで。それプラス土地代も含めて購入するならこれで買いますという説明になるんだらうとあらかじめ予測できますが、いつになるかも分かりません、今の状況だと9月にも上がってこないかもしれない。そういった中で12月に言われて先延ばしにされて。真摯にしっかりそういった所から説明していただかないと。皆さん多分これが出来ると勘違いするし、ここからどう広げていくのかという話にもならないと、思います。全く同じ物を移転するだけの話なので、このままだと、ならないと、思います。こういうこと自体が、私としてはもう少ししっかりした案を仲買人と話をした上で、浜田市の水産都市の窓口としてこういった物があればいいというぐらいの説明が私は、いただきました。これだけでは、こんなことにしかないんだと、これを見て思ったんです。だから買い取るか買い取らないか分からない状況の中でこんなことを出すこと自体が、不思議で仕方がないなと思うわけです。話し合いがまとまってないだけでも良いような話なわけです。

岡本委員長

産業部長に申し上げますが、何か目安なり、いつ頃までに、どうい

産業経済部長

とをしたいのだというようなものは。今やりとりしても見えない部分がありますので、ある程度時期的なもの、このくらいの時期においては少し考え、ここまでには考えたいというような答弁を貰えませんか。そうでないと、ずっと同じようなやり取りになると思います。産業経済部長。

お魚センターの在り方については、これから色々委員の皆さんにもご意見をいただいている所です。求める所というのは水産都市浜田としての賑わい、あるいはPRの拠点となるし、この漁港エリアが活性化されるということを前提に色々考えているところです。そういう意味で仲買の建物が古くなっています。お魚センターの集客が落ちているといった所で、両機能が入っているように今考えているわけですが、実際仲買さんと話しています。しかし現段階では「ここへ移ろう」という判断をいただいていません。ですがお魚センターからも早く買い取って欲しいという要請が出ています。早い決断をしなければいけないことも理解しています。本来なら6月議会で補正も出して新たな道筋を作っていかなくてはいけないと思っておりましたが、残念ながらそういうスケジュールに持っていけませんでした。とは言いながら、お魚センターもああして集客が伸びない、風評被害とはいいませんがそのような声も聞こえてきます。早く判断を付けないといけないと思っています。9月議会までには色々な方の意見をいただきながら判断して、買い取るのだということであれば、9月には出せるよう努力したいと思えます。

笹田委員

もう1つだけ言うておきますが、この話をずっとする中で、お魚センターの買取条件が、仲買人が移るか移らないか、その1点に絞られている気がするんです。その中でこういう資料を持って仲買人の方と、こちらに移転してくださいねといった場合、仲買人の方は「これなら出来る、これなら移る」と言った時、もうこれしかないんです。変えたりすると話が違うではないか、ということにもなりかねない話をしているわけですよ。今。それでは本末転倒です。ただ移せばいいなら本当はそこで建て替えても良いわけです。この施設を水産都市浜田の顔にするならあのままでは駄目だという頭があるなら、これプラスそういったこともお示しながら話をしていかないと、自分らが聞いた設計図と違うから移らないということに、なりかねない話ですよこれは、はっきり申し上げて。だからお魚センターを仲買人の移転の条件で買うことが浜田市の方針としてあるなら、それプラスで話をしていかないと、これで終わってしまいますので、その辺は9月までに向けて、これだけではなく色々な委員の意見もあったでしょう、道下さんも一生懸命やっている部分もありました。浜田市の市民が喜べるような施設にしてくれというのが我々の希望なので、このままではそれになりませんので、仲買人の希望も伺いながらプラスアルファのことを考えないと、私は駄目だと思います。

産業経済部長

おっしゃるとおりだと思います。いずれにせよ思いは一緒だと思っていますので、色々な意見を伺いながら漁港エリアの活性化、賑わいに繋がる施設の在り方をしっかり考えていきたいと思えます。

岡本委員長

他に質疑がありますか。三浦委員。

三浦委員

まず買うのか買わないのかという方針が大きくあると思います。買うとすれば浜田市が運営する時に、こういう可能性があることを想定した

紙だと理解しているんですが、そうなった時、レストラン棟に例えば3店舗が入るように改修する、仲買人さんの所が12区画区切られるんですかね、とにかくこれは間貸しでここから賃料が発生すると思います。そうした時に、この施設を運営していく時にどのくらいの家賃が設定されて、それぞれ店子さんからどのくらいの家賃収入があつて維持管理費にどれくらい出ていくという収支計画も一緒に出てくると思うんですが、そこはどのように計算されていますか。

漁港活性化室長

収支についても維持管理を含め、テナント家賃いくら入るかも含め、収支についても検討はしていますが、具体的に家賃が確定してない中で、収支についてはどういった想定であれば赤字にならないかは検討しています。

三浦委員

そこを並行してやらないと、この区割りは出来ないと思います。なので、そこがないまま3店舗区切るという計画はやはり成立しないのだろうなと思います。仮に浜田市直営でこの施設を運営していく時に、どういふ計画になりますという事業計画と、収支計画が一緒に出てこない、我々もそうですが判断できないと思います。これを本当に浜田市がやるべきなのか。そこが想定できるからこそ、では買い取りましようという話が出来ると思います。その素案が出てくることは大事だと思います。ノープランでは仲買人さんともお話ができないでしょうし、それはそうだと思いますが、このペーパーだけでは議論が出来ないと思うんです。なのでその所はきちんと、維持管理をこれからしていける具体的な計画部分と、新お魚センターとしての賑わいづくりをどうしていくのかという、川上委員のおっしゃっていた周辺エリア、ここには港オアシスというもっと広いエリアでの港をどうしていくという概念を浜田市はきちんと持っているわけなので、その所も踏まえて港オアシスをどうしていくのか、その中で今必要な機能はこうだ、だからこれをやるんだという、大きい概念からきちんと落とし込んでいかないと、本当に小手先で目の前の問題を解決するだけの話になってしまいそうな気がします。その所は周辺から、あるいはそこからどんどん落とし込んでいって、これなら続けていけるという所まで納得感を持ったお話を伺いたいですし、そうでないとその先の議論は全くできないという印象を持っています。

漁港活性化室長

ご指摘いただいたように、事業計画、収支計画等もきちんとして、どうしていきたいかということは中で詰めたもので、改めてご提案できるようなことをしていきたいと思っています。また議員さんからも色々な意見を頂戴し、詰めてまいりたいと考えます。

岡本委員長

他に質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(15) クルーズ客船の浜田港寄港について

岡本委員長

執行部から説明をお願いします。観光交流課長。

観光交流課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(16) 第12回自治体国際交流表彰受賞について

岡本委員長
観光交流課長
岡本委員長
串崎副委員長

執行部から説明をお願いします。観光交流課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。串崎副委員長。

大変喜ばしいことです。参考までに聞いてみるのですが、1986年から
と言えば約三十数年が経過しています。これは毎年行き来されているん
でしょうか。

観光交流課長

毎年行き来していて、手漉き和紙に関しては2013年から専門家の派遣
を2回、研修員の受入れ4名、2014年には専門家の派遣1回、研修員受け入
れ3名、2015年は専門家の派遣2名、研修員の受入れ4名ということで行っ
ています。手漉き和紙交流は一段落していますが、それについて美術交
流、現在では中学生の交流も行っており、昨年もブータンから子供たち
が浜田に来ています。

岡本委員長

他に質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(17) 旭温泉あさひ荘の重油ボイラの故障に伴う対応について

岡本委員長
旭産業建設課長
岡本委員長
笹田委員
旭産業建設課長

執行部から説明をお願いします。旭支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。笹田委員。

故障した原因は分かりますか。

一番下に導入年月が平成19年2月とあり、11年以上経過しています。業
者に問い合わせた所、フルタイムで利用する場合の重油ボイラの耐用年
数は約7年から8年ということです。ただ、昔のボイラと併用してチップ
ボイラを使っていますので、フルタイムでの使用はしていません。恐ら
く今後は2倍から3倍の耐用年数はもつのではないかと業者から聞いてい
ます。

笹田委員

要するに壊れたので新しくして、チップボイラと併用すれば長くもつ
ので、今後こういった短い期間では壊れずに使えるということによろし
いでしょうか。

旭産業建設課長
岡本委員長

はい。

他に質疑はありませんか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(18) 山ノ内梨園再整備圃場への入植者の決定について

岡本委員長
旭産業建設課長
岡本委員長

執行部から説明をお願いします。旭支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。ここで休憩を取りたいと思いま

す。再開は2時5分とします。

[13 時 56 分 休憩]

[14 時 05 分 再開]

岡本委員長

会議を再開します。観光交流課長より答弁の中の訂正があるようですので、先に答弁を求めたいと思います。観光交流課長。

観光交流課長

先ほど第12回自治体国際交流表彰受賞について発言させていただきましたが、後に串崎副委員長から「今でも毎年行ったり来たりしているのか」というご質問の中で、昨年度もブータンから子供たちが来たと申しましたが、それは誤りで、今年1月にブータンの美術職員1名、ブータンの美術担当の先生が3名、4名がいらっしやったということで訂正させていただければと思います。来年の1月にも美術担当の先生が3名、行政担当職員さんが1名来られる予定となっています。

岡本委員長

はい、ありがとうございます。

(19) ふるさと体験村の運営状況（直営）について

岡本委員長

この件について弥栄自治区長より発言の許可を求められています。先にそちらを許可したいと思います。弥栄自治区長。

弥栄自治区長

まず5月9日に採取した浴槽の水質検査で、レジオネラ菌がまた検出されたことに対して、お詫びさせていただきたいと思います。直営開始から2回目の検査で基準の6倍というレジオネラ菌が、女性大浴場から検出されました。利用者の方はもとより、議員の皆さまにもご心配をかけたことを深くお詫び申し上げたいと思います。

岡本委員長

3月議会で色々提案させていただいたことについても後程説明させていただきますが、4月初めから施設長と職員体制が揃わなかったこともありますし、今、検証委員会も実施していただいています。6月議会に向けて最終報告は少し難しい状況なのと、それを受けて色んな数字の積み上げがあるので、31年4月1日からの指定管理に向けた公募が少しずれ込むのかといった内容についても、お詫びを兼ねて内容の詳しい説明をさせていただきます。大変ご心配をおかけして申し訳ございません。

弥栄産業建設課長

はい。では弥栄支所産業建設課長。

岡本委員長

(以下、資料をもとに説明)

説明の途中で気づいたのですが、次の(20)も体験村のことですし、その後のレジオネラ菌についてもそうなので、続けて説明をお願いしてもいいですか。では続けて説明をお願いします。

(20) 浜田市ふるさと体験村施設経営検証委員会の中間報告について

(21) ふるさと体験村の浴槽からのレジオネラ菌検出について

岡本委員長

執行部から説明をお願いします。弥栄支所産業建設課長。

弥栄産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

川上委員

資料のアとイがないのですが。

岡本委員長

暫時休憩します。来たら皆さんに配布してもらって始めたいと思いますので、よろしくをお願いします。

[14 時 21 分 休憩]

[14 時 41 分 再開]

岡本委員長

大変長らくお待たせしました。執行部においてはまだ資料が届いていませんが、あまり時間がかかってもいけないので進めさせていただきます。(20)の中で、現段階で出されている意見等という所から、説明をお願いします。弥栄支所産業建設課長。

弥栄産業建設課長
弥栄産業建設課長

(以下、資料をもとに説明)

続いてふるさと体験村浴場の水質検査結果について説明させていただきます。

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長
弥栄支所長

弥栄支所長より発言を求められています。許可します。弥栄支所長。

資料の不手際で貴重な時間を使い、大変申し訳ありませんでした。今回3点報告させていただいています。

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

(19)から(21)まで一括で説明をいただきました。委員からの質問も、案件をまたいでいる部分があると思いますので、一括した形で質疑いただきたいと思います。川上委員。

川上委員

再生計画づくりの重点目標とって、これまでのコンセプトを継続してということになっていますが、これまで上手くいかなかったコンセプトを継続するのは非常に不可解です。この重点項目は執行部の方が作られたんですか、それとも住民が作ったんですか。

弥栄産業建設課長
川上委員

我々執行部が計画を立てさせていただきました。

3月議会で私は賛成の立場になりましたが、その際に何か条件を挙げたと思います。住民の方々が本気になってやるのであれば賛成すると言って、私は賛成させていただきました。このように重点項目をまた執行部が出すということは、これまでも上手くいかなかったことをまた継続するのだろうと私は思っています。ですのでこの重点項目については、住民も含めて再度ご検討いただきたいと思います。

弥栄産業建設課長

こちらの重点項目については、当初体験村が弥栄村時代に出来た時の物を中心に挙げていますが、そもそもそういうことが出来てなかった、まだ地域住民との関わりが少なかったということを踏まえて話をしまして、本来あの施設が担っていく体験交流をして多くの方に来ていただく。その中で地域振興率も上げていくのだという所に持っていきたいと思っていますが、まだ私どもの努力が不足地域への認識が不足なので、今一生懸命地域の方と話をしながら体験メニューの部分での関わり、それから食堂、それから地域がどのように施設を活用していくのかも含めて、今話を進めています。現在体験メニューについては少しずつではありますが、実施していきたいということで、取り組んでいる所です。

川上委員

お答えは結構ですが、折角今、地域の意見をお聞きになっています。216分の20ということで、地域の意見を元にしてコンセプトを再度組み立て直すとか、重点項目をつくるとかという方向に持っていかないと上手くいかないなど。要するに地域住民が自分たちのこととして問題点を挙

げていただいて、自分らがどうするのか、自分らがどう関わられるのかということが無い限り、再生は難しいのではないかと私は考えています。その辺についてご検討ください。

弥栄産業建設課長

地域に出ていくと色んなご意見をいただきます。厳しいご意見がかなり多いこともあります。重点項目として挙げていますが、地域の方のご意見を参考に、内容について検討していきたいと思っています。

川上委員

議会報告会の中である方が、自分は印鑑を押したが止めておけば良かったとおっしゃっていた。そういう意見もありますので、再度ご検討をお願いしておきます。

岡本委員長

他に質疑ありますか。笹田委員。

笹田委員

3月議会で私は、予算も反対するほど危惧していました。4月頭に区長ともお会いして話を聞きました。西村さんも反対していましたが、やはり私らが言っていたようになってしまったかなど。自治区長が気持ちを込めてやらせてくれ、覚悟を持ってやるんだと3月議会で話があった時には、4月から始めないと施設長を担ってもらえないのだという答弁でしたが、結局4月に行った時には「辞退されて難しくなった」ということでした。まず辞退された理由からお伺いしてよろしいですか。

弥栄産業建設課長

3月議会にて、施設長・施設長補佐の候補がいるのでしっかりやっていくという説明させていただきました。施設長は本当に話をされていて、最後の最後でうちの話し方が悪かったのか決断されなかったということがあり、そこで体制が組めず現実が変わってしまったことが大きな原因だと思っています。説明不足だと思います。

笹田委員

信頼が無くなるわけです、4月1日には違うことをされているわけだから。3月議会で説明を受けてその条件なら許可しようという議員さんもおられたと思います。出だしから違う方向に行っているという時点で、信頼関係が失われていると思います。

それと、施設マネージャーというのは聞いてなかったのですが、急遽委託になった経緯を教えてください。

弥栄産業建設課長

話をして施設補佐になっていただこうと思っていましたが、食堂の委託業者も、当初女性グループでしたが営業をするととなると実際なかなか難しいという話だったので、地元の飲食業者をお願いして、何とか運営しようという回答をいただきました。食堂と体験村の事業というのはかなり関わりが深いこともあり、スタッフ的に食堂と行き来したやり方で進めて行った方が良く、委託業者とも話をする中で、そういう人の方が良いかなという部分もあり、委託業者側で職員を雇用していただき、食堂も関わるし他事業とも関わっていく方がスムーズに行くのではないかと。苦肉の策で、本当は施設長がいてバランスを取っていけば良いのですが、施設長が居ない中で何とか動かしていかなければならないということで、施設長の代わりは弥栄支所がやるけど、その後の所は急遽方向を変えさせていただきました。

笹田委員

そこも4月の頭から計画が全然違ってしまって、これだと最初から何を考えていたのかと言われてもおかしくないじゃないですか。上手くいくわけがないですよ、最初の計画から全然外れたことをやられているので。僕はこのマネージャーとも話をしましたし、委託されているトップの方

とも話をしました。やはり色々なことを言われていました、あまり良いことは言われませんでした。大切な施設ですけど、と言いながらも、支所に対しては色々な思いをお持ちでした。ここでは言いづらいことも言われていました。そういう状況の中、果たしてその施設が上手くいくのか。私は3月で申し上げたとおり、難しいのではないかと今でも思っています。委託ということですが、委託料はいくらでしょうか。

弥栄産業建設課長

委託料は管理費用として500万円、食堂業務の仕入れ等にかかる費用は食堂分が40パーセント相当を委託費として払う。物販については同じく5パーセント相当分を実績に応じて払います。

笹田委員

その根拠はどうやって出されたんでしょうか。

弥栄産業建設課長

管理費については雇用に係る人件費を、うちでほぼ積算しました。そういうことで少し相談したり、費用部分を消耗品等も含めてある程度、公社の実績から取りました。食堂と物販の売上実績については公社の原価目標がありましたので、それを適用させていただきました。

笹田委員

6月から新体制でまたやられるという説明でしたが、これを見ると施設長がほぼ決まったという認識でいますが、その方の説明は今できますか。

弥栄産業建設課長

結局、公社の職員が来られなかったということもありますので、不慣れな状態になってしまったので、経験者を当たっていましたが、一応宿泊施設の支配人をされた方が来られるということでしたので、決定していきたいと思います。

笹田委員

「決定していきたい」ということは、まだ決まってないんですか。6月といたらもうすぐなんですけど。

弥栄産業建設課長

公募期間が終了していないのですが、一応その方とはお話しています。

笹田委員

我々はその公募期間がいつからいつまでなのか全然分かりませんし、6月1日からされるのに、今5月28日です。あと2、3日しかないですが、公募期間はいつまで何ですか。急に決まって出来るようなものなんですか。公募は30日としていますが、面接はしていますので、決裁が下り次第、任用したいと思います。

笹田委員

分かりました。他の委員もおられるので次の質問に移ります。レジオネラ菌についてですが、先ほど区長の説明で、今まで4回レジオネラ菌が出たという話がありましたが、それは間違いないでしょうか。

弥栄産業建設課長

はい、間違いありません。

笹田委員

4回も出たということは、絶対にまた出ます。何かを変えないと。旭で出た時は管路を全部変えられましたよね。今まで4回出た時に管路の変更といった対策は無かったのでしょうか。

弥栄産業建設課長

施設的な問題は無いということで、変更はしていません。

笹田委員

でも実際出ているんです、3回も4回も。もし本当にやるのであれば、これを変更しない限り、また絶対出ますよ。皆多分そう思っておられると思います。今後どうやっていくかが書いてないので考えておられませんか、このまま「掃除を徹底してやりますからやらせてください」と言ってもまた出ます絶対に。変更等は一切考えてないのでしょうか。

弥栄産業建設課長

ジェットポンプのことですが、直営にした当初からそうですが、ジェットポンプを使うか使わないかという点がありました。そこは対流はしていますが、風呂の水垢を含むその水は表に出てこないだろうという

ことがございましたので安全だろうと。経費のこともありましたので使わないということにしておりましたが、そのジェットポンプを常時使うと、塩素水が入ったものが循環するので、そうすると安全であることが想定されるということです。そちらを再度薬剤処理して、綺麗にした状態でその確認をさせていただき、その管については安全だということを立証してから営業再開になろうかと思えます。

弥栄支所長

過去3回出た件については、結果的に原因追及しても答えが出ていない状況にあります。昨年出た分については約20コロニー出た、その後掃除などして出なかったので運営再開という判断をしました。原因の詰めが出来ていないのは確かです。ただ、聞いてみると検査に出すための採水方法に少し問題があったのではないかという認識があります。3月も6月もですけど、最初にとった場所が出たということで、取る時の容器に漏斗などで入れるのですがそれが汚れていたのではないかという推測もあることから、今回採水方法は業者も含めて見ていただいて、問題が無いただろうと判断しています。ただ今回、先ほどありましたように経費も含めて結果的に1日数人しか入らないお風呂に、ジェットを24時間稼働させるのはどうかも含めて、現場の方で止めたということで、水がどこかに止まっていないか業者が確認した所、ジェットの可能性があるということでそれを今回再検査した。結果的に出たので、少なくともこれが原因だろうということですから、ここを清掃して出なければ、とりあえず1つ原因を潰せると思えます。ただ、次に出ない保証はありません。業者さんに見てもらおうと、他の施設とも比べて、塩素消毒しますがここは温泉ではありません。温泉の泉質によってpHとの関係で塩素が効きにくいということがあるようですから、地下水ですから塩素で充分効果はある。塩素の自動投入・自動検出していますので、人間が1日3回検査しますが、機械が自動で注入しますので、0.2を下回ったら入れるということですから、機械も含めてこれだけの設備で出るのがおかしいという言い方をさせていただいています。

旭の時には確かに配管に凹凸もあったようですが、弥栄の場合はL字ではありますが滞留はしない形なので、構造上の問題が無いという意見はいただいています。設備的な問題としてジェットかなと思っています。これを洗浄して出なかったとしても、すぐ再開は考えていません。業者も含めてもう少し可能性がないかは突き詰めさせてもらおうと思っています。保証というのは本当に厳しいです。掃除も含めて毎日1時間半くらい付きっ切りでやっていますが、それでも今回出たので、営業再開については出なかったからすぐにしようと判断しないで、少し検討させていただこうと思っています。

笹田委員

弥栄支所も限られた人数でお仕事されていると思います。大変忙しかったりする中で、直営は非常に厳しいのではないかと。支所の職員が回って色々チェックすること自体、相当厳しいのではないかと考えています。また委託の方に話を聞きますと、きちんとした協力体制が取れていないし、何かあった時にすぐ来てくれるかと言えばそうでもないし、という話はされておりました。その信頼関係がきちんと構築できていない中で直営だという説明を受けても、上手いこと施設運営していくのは難し

いのではないかと思います。直営ということは、それだけ支所の方が通常業務に上乗せで仕事しないといけない、どうしても負担にならざるを得ない。人を臨時で雇うというレベルの話ではないので、支所の人が体験村の仕事もやるというのは、非常に厳しいのではないかと私は思います。そういったことも考えながらしっかりしないと。言ったからやらないといけないんだと首を絞めるのではなく、検証委員会も立ち上げたことですし一度立ち返って、何がどうなれば人が来るのか、地元に使ってもらえるのか、地元の人に協力をあおげるのか、そういったことから始めないと今の体制のまま、地元の食堂の委託を受けて、法人3つやられて喜ばれたから良かったと言ってましたけど、それだけの関係になっているんですよ。それだけでは施設は良くならないと私は思いますし、もう2ヶ月も経ってこの状況だと、支所長が言われるように1年経っても公募するのは難しいだろうという状況になっていますので、再度この2ヶ月のことも含めて、レジオネラ菌のことも含めて、もう1回立ち返って職員の健康のこともありますし、しっかりした体制で出来るような施設にならないと。私は今話をしながらでも、本末転倒だなと思っています。それについて自治区長から何かあればお願いします。

弥栄自治区長

確かにおっしゃるとおり、笹田委員には実際に現場に来て話を聞いていただいた。臨時で入っていただいた人たちともまだしっかり話が出来てない状況ですので、住民の方からも「そこが一番大切だろう」ということで、まずはしっかりコミュニケーションを取って、一体何のためにこの施設が存在しているのか、そこへ立ち返ることが第一歩だよという話も多々いただいています。弥栄支所直営で続いて上手いこといくことは絶対あり得ませんので、あるべき姿に戻るためにもう1回話し合いをして、早く体制を整えたいと考えています。6月からはそのように実際運用できるのではないかと考えています。

岡本委員長
三浦委員

他に質疑はありませんか。三浦委員。

重点項目として①から③まで書かれています。先ほど川上委員からもありましたが、何故この重点項目が挙げられたのか、その経緯が大事だと思います。ご説明いただいても良いでしょうか。

弥栄産業建設課長

この重点項目ですが、当初弥栄の体験村を作る時のコンベンションビレッジ弥栄計画の中の重要な項目が、この3点でした。「地域の拠点施設としての体験交流を中心としたもの」「安全安心な食文化を情報提供していく」「本来の体験交流で他地域から来ていただいて地域振興に繋げ特産品を開発していく」という当初からの目的、本来していなかった所を今一度やっけていこうと、今回重点項目としました。

三浦委員

川上委員の時にもいただいたご回答だと思いますが、当初の目的はそうだった、で、今こうなったと。それを改めて見直す時に、原点に戻るといのはもちろん大事だと思いますが、原点に戻ったことと、これからどうするのか、どうしていききたいのか。これは3月議会の時にも、住民の方がどう思われるのか、ここをしっかりとやっていきたいと思う人がどうしていききたいのかをきちんと踏まえてスタートしないと、ということも私も申し上げたと思います。いまのご説明だと、原点に戻ってそこからの目的の抽出だけだと同じことがまた繰り返されそうな気がします。

その点についてはこの重点項目を、ここに書かれる執行部の議論の中で、改めてここに立ち返った経緯をもう少し詳しくご説明いただければ嬉しいですが。

弥栄産業建設課長

何故そこに戻ったのかですが、弥栄に観光施設がない、地域全体が観光施設というか弥栄にとって魅力ある施設だろうと思っています。それを考えると当初ありました体験交流で多くの人に来ていただきたい。そこから特産品を生んで地域振興に繋げたり、体験交流をしながら地域と繋がりを持っていく、外貨も稼いでいくことをしなければいけないと考えました。

もう1つ、地域にとってこの施設はどうあるべきだろうかですが、地域でもっと活力を生んでいただくためにあの施設を使っていたきたい。地域集会や各団体に積極的に施設を使っていたいくことでコミュニケーションが生まれるようなことも考えていきたいということで、こういう計画をしたところ。基本的には当初の計画に近いものが柱になり、実際についてはそう思っています。自治区長も集落に出て話をしていますが、それだけでなく色んな団体とも話をし、実際どういう施設を求めなのか今後詰めていく予定です。

三浦委員

集落座談会が今行われているということで、区長も集落に行かれていますと思いますが、その中で地域の方々から聞かれている声、どういった声をお聞きになられているのかお聞かせいただきたいのと、もう1つ、検証委員会の中にも「地域の思いを大事にしながら」というのが出ていますが、この「地域の思い」とは一体何なのかも併せてご説明いただけますか。

弥栄自治区長

地域の声として大多数の方は、施設として飲食・宿泊施設としては非常に大切なので、仕出しや、里帰りしてきた縁者の宿泊、一番多いのは法事に、最近活用されていますが、それを使われる人と言うのは限られた人数ですので、大多数の方は「以前は行ったけど最近行ってない」という意見もあるのは事実です。何故遠のいたのかというと、体験村で何が行われているのかよく分からないという意見もあったりして、それは確かにそうだろうなど。積極的な働きかけが少なかったゆえに、そもそもの目的が果たされてなかったのが一番の原因だろうというご意見をいただいています。地域の思いは、田舎暮らしをしていることを誇りに思える施設、田舎暮らしを通じて「こんな生活も捨てたもんじゃない」という思いを体験できるのが一番の目的だったと私は思っています。当初は農場があって一緒に畑を耕したり色々やっておられたようですが、そういうのが段々無くなって、宴会・宿泊に特化したために、出身者及び外の人との交流が少なくなったことに原因があるのではないかと、というお話は集落でもいただいています。

三浦委員

先ほどのお話に戻りますが、重点項目の所に必ずそういう視点は大事だと思えます。これから更に最終報告をまとめられることになると思いますが、しっかり住民の方々の意見を伺うだけではなく、その声に対してどういう提案がこちらからも出来るのか、しっかり出来なかった所の理由を検証していただいて、これは検証委員会にも委ねる所だと思いますが、しっかり検証して最終報告をまとめていただきたいと思えます。

その検証についての構成員ですが、構成員の中に民間経営者がお一人も見受けられませんが、この人選はどのような形で最終的に決まったのでしょうか。

弥栄産業建設課長
三浦委員

弥栄支所と産業経済部も含めて検討して、委員を選定しました。

これからこの事業と事業の収益性をきちんと考える時に、これは私個人の意見ですが、こうした施設や事業をきちんと回してきた民間事業者・民間経営者さんを入れるべきだと思います。事業をきちんと継続することが担保出来るような、具体的な、実現性のある事業計画を検証し、結果を期待したいと思います。そうした視点も大いに盛り込んで、検証委員会の方々にも求めていただけたらと思います。

最後に1つ、今体験村の事務所にいらっしゃる方、委託事業者の方、臨時・嘱託職員、弥栄支所の方、それぞれ所属先が違う。チームで運営されていると思いますが、スタッフの会議はどのくらいの頻度でされていますか。

弥栄産業建設課長

定期的にというよりは、どちらかと言えば担当の者が伺って、その時に居る職員に対して話をしていく。委託業者については必要な時に集まって、私どもや職員や委託先職員が一緒になって話をします。不定期に対応しています。

三浦委員

これは是非、定期的にされるべきだと思います。その組織が1つでないことももちろんですが、今の状況をきちんと共有し、それに対してどう施設管理に臨むのかが共有できてないと、色んなミスがまた起こってくると思います。今回のレジオネラ菌のことだけではなくて。何故そうなったのか、検証委員会の結果も今の状況も、スタッフの中で共有するべきだと私は思います。

とても細かいことかもしれませんが、私も体験村に行きました。気になったのは周辺の掃除がされていないということです。今はとても人が少なくてやることもたくさんあるかもしれませんが。ただあそこに食事や宿泊に来られた方が一番どういう所を見るかというと、建物周辺の草刈り、落ち葉の掃除、そうした目に見える所をしっかりとやるのも大事な仕事だと思います。正直、今の来客数はそんなに多くないと思います。その多くない時に、ここの業務内容に書かれていなくても、お客を施設に出迎える気持ちをスタッフで共有することも大事だと思います。それが、定期的に会議が出来てないことにも繋がっているのではないかと思います。であれば定期的に会議を持つことで改善されることもあると思います。それを、スタッフの各雇用形態関係なく思いを共有していただいて、施設管理をしっかりといただくよう強くお願いして終わりたいと思います。

弥栄支所長

今のご指摘はそのとおりだと思っています。施設長雇用の目途はついていきますので、今までは委託側と市の職員はお互いに少し遠慮があったかなという部分もあったので、施設長からしっかりと正していただくことと、定期的な会議の指示をさせてもらっています。中でのラインに合わせて現場の問題点をしっかりと吸い上げていこうと思っています。

環境整備の件ですが、確かに広いですが最近結構……ちなみに土曜日にいちご狩りに来られたので、あの辺は私が草刈りをしました。基本的

岡本委員長
川上委員

に私がやっています。また言っていただければ対応させていただきます。
他に。川上委員。

検証委員会の結果を6月議会に出せないという話がありました。理由としてレジオネラ菌等と言われましたが、この検証委員会は3月末までのことを検証するのですか。それとも今出ている案件もするのですか。3月末までのことを検証するのが検証委員会でしょう。今回のレジオネラ菌の事は関係なく、過去のことを検証して原因をしっかりと出すべきだと思うので、今回のレジオネラ菌を理由に後延ばしにされないように。

従業員さんの残業手当の件は始末がついているのですか。それもはっきりせずに先へ進まないように。3月までのことをしっかり検証するのが検証委員会なので、それがなければ6月1日からのことも本来は出来はずです。検証委員会の結果とその対応が出ない限りは、ずるずる事業を進めることは罷りならんと私は考えています。

弥栄産業建設課長

検証委員会については出来るだけ早い段階で、きっちり検証して報告させていただきたいと思います。賃金未払いについては公社の理事長にも再確認をして対応するよう言っています。

産業経済部企画監

私も検証委員会に入っていますので一言申し上げます。検証委員会は過去に起こった問題点を洗い出し、前回までにほぼ課題を洗い出しました。それを受けてどう提言するか、どういう在り方を示すかを話しています。そのようにご理解ください。

岡本委員長

企画監から少し説明がありましたように、検討はされている、提言をするというお話でした。川上委員。

川上委員

非常に嬉しい回答をいただきました。過去をしっかりと検証し提言をまとめて出すと。資料2に「これらを踏まえ部会として提言をまとめることとする」としっかり書いてあります。既にこの時点ではレジオネラ菌は関係ありません。しっかりと検証して早く提言を出して、それをもとに前へ進めるようにしていただきたいと思います。

岡本委員長

他に質疑ありませんか。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(22) その他

岡本委員長

執行部より1件あると聞いております。外ノ浦の北前船日本遺産追加認定について、観光交流課長。

観光交流課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について、委員から何かありますか。三浦委員。

三浦委員

日本遺産の認定に伴って外国人の方々が訪れてくださる可能性も上がると思います。通訳の問題はどのようにお考えでしょうか。

観光交流課長

通訳のことは正直まだそこまで考えが回っていませんが、外国クルーズ船が来たときの通訳対応も大変苦労しまして。まず英語を話せる方を集めて、この度十数名の方にボランティアでご協力いただいたわけですが。日本遺産の場所をお客さんにどう案内出来るかという点で、また検討していきたいと思います。ボランティアガイド養成講座なるものも行っていきますので、こうした事業と連動して浜田市内各地や石見神楽等も

通訳できるよう検討していきたいと思います。

岡本委員長
笹田委員

他にありませんか。笹田委員。

日和山の件でお伺いしますが、皆さん行ったことありますか、行ったことない人がほとんどではないかと。実はすごく分かりにくくて行きにくいです。というのもあそこまで車で行かないと上がれないんです。民地が並んでいて駐車場が作れない。市の駐車場等に停めて行ってくださいとなると、恐らく誰も行けないのではないかと考えています。入口まで車で行けて、空いてそうな土地も調べて、近くに3、4台でも車が置けるようにしておかないと。折角認定されて、史跡がありますよと言ったとしても行けないと思います。上まで上がれば崖等もあってかなり危険です。そういうこともしっかり考えながら、怪我人等が出ないように案内する必要があると思いますが、そこまで考えておられますか。

観光交流課長

まさにご指摘のとおりです。人に来ていただくためには駐車場の整備、人が来ればトイレの問題もあります。まだ駐車場候補が挙がっていないのですが、早急に検討して地域の方とも相談して進めていきたいと思います。

岡本委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり)

その他、執行部から何かありますか。

(「ありません」という声あり)

委員からその他ありませんか。

(「なし」という声あり)

それでは、ここで執行部からの報告事項(22件)について、全員協議会へ(①そのまま提出し説明すべきもの、②資料配布のみとすべきもの、③提出の必要はないとするもの)の決定をしたいと思います。

執行部側の意向を報告いただきたいと思います。産業政策課長。

産業政策課長
岡本委員長
笹田委員
岡本委員長

(執行部側の意向を説明)

よろしいでしょうか。笹田委員。

お魚センターも説明した方が良くと思いますが。

14番の説明をお願いします。他にありますか。

(「なし」という声あり)

それでは、そのように決定します。

- (1) 配布しない
- (2) 資料配布のみ
- (3) //
- (4) //
- (5) //
- (6) //
- (7) //
- (8) //
- (9) //
- (10) //
- (11) 資料配布なし

- (12) 資料配布のみ
- (13) //
- (14) 説明あり
- (15) 資料配布のみ
- (16) //
- (17) //
- (18) //
- (19) 説明あり
- (20) //
- (21) //
- (22) 資料配布のみ

岡本委員長

それでは、執行部の方はここで退席されて結構です。

《 執行部退室 》

2. その他

岡本委員長

その他で、委員から何かありますか。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

この度、弥栄の件、お魚センターの件が、3日前から指摘されているようです。そういう視点から我々が批判されているという観点に立って…委員会が行われるまでに私から打合せをして、皆さんと共に調査会を開きたいと思います。皆さんに了解をいただきたいのですがよろしいですか。

(「はい」という声あり)

岡本委員長

ではそのような形で進めさせていただきます。

他に質疑はありますか。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

以上で、産業建設調査会を終了します。皆さんお疲れさまでした。

[15 時 56 分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 岡本 正友 ㊞